

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、19～25℃台を示し、やや低め～平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——月夜間とシケのため出漁日数が少なかった。西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり17トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり0.4kgの水揚げで、前週の3%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり5kgの水揚げで、前週の2%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり13kgの水揚げで、前週の41%（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり13kgの水揚げで、前週の3%（前年を上回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、カンパチなどが1日1統当たり315kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり264kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり114kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり182kgの水揚げで、前週の66%（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/29～11/4の7日間）沖合イカ釣り船（船凍船）は、大和堆付近で操業。
沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖、能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。
鳥取県西部（沖合船）入港船なし。今期は月夜、時化等で出漁船は殆どなかった。
（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第2-30号 6県ケンサキイカ情報（令和2年 第5号）・第2-31号 今期のトビウオ漁模様とトビウオ漁況予報の検証・第2-32号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果・第2-33号 長崎県周辺海域の海面水温（11月号）」を発表しました。
漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>